

KANAGAWA INSTITUTE OF TECHNOLOGY Nursing Career Extension Center

神奈川工科大学 看護生涯学習センター

認定看護管理者教育課程(ファーストレベル)日本看護協会認定教育機関

ひとを創り・育てる

看護職の自律性・主体性を支援

Nursing Career Extension Center

看護生涯学習センター

神奈川工科大学看護生涯学習センターは、看護分野の人材育成、キャリア開発など生涯学習を支援することを目的として2019年に開設致しました。最初の事業として、日本看護協会認定看護管理者教育機関としての認定を受け「認定看護管理者教育課程（ファーストレベル）」を実施致しております。

当センターの特徴は、神奈川工科大学との連携の元、各分野のスペシャリストの講師陣が新しい医療福祉や看護の動向について講義を提供します。また、研修場所は駅近くにあり便利な教育環境です。

なお本課程は、学校教育法に基づく「履修証明プログラム」(*)として開講いたします。

(*)：大学のより積極的な社会貢献を促進するため、社会人等を対象とした一定のまとまりのある学習プログラム（履修証明プログラム）を開設し、その修了者に対し学校教育法に基づく履修証明書（Certificate）を交付致します。

週末型研修

仕事との両立が可能です

看護職の自律性・
主体性を育成

論理的思考
リーダーシップ
概念化能

認定看護管理者の 教育

ファーストレベル教育課程
フォローアップ研修実施

充実した講師陣・ カリキュラム

大学との連携・各分野の
スペシャリストが担当

看護生涯学習センター職員紹介



新実絹代(センター長・看護管理学教授)

昨今の保健医療福祉をめぐる動向の中で、チーム医療のキーパーソンとしての看護職に対する役割や期待は大きくなっています。

本センターでは、日々奮闘されている看護職の方々が、研修後に「自信」と「勇気」をもち、課題に取り組めることができる教育と環境を提供させていただきます。

また、皆様方が研修に自律的、主体的に取り組む、新たな「可能性」を「創り」「育む」ことをご支援させていただきます。多くの方々のご応募をお待ちしております。

研修中は、専任教員3名と事務職員1名が支援させていただきます。

井上喜恵子(専任教員) / 小口明美(専任教員) / 辻田幸子(専任教員・看護管理学助教)

修了者の声(2019年度)

町田市民病院 綿貫久美子

私は、日々業務の中で生じる様々な問題解決に管理者としての知識不足を感じ、2019年度ファーストレベルを受講しました。研修では経験豊富な諸先生方から、最新の医療・看護の動向を初め、様々な角度から看護管理を学修する中で、今まで経験値だけで行動していたことを痛感しました。特に、統合演習では自部署の看護管理課題に対し、「あるべき姿」から現状を明らかにし論理的思考に基づく分析にとっても苦労しました。施設や職位は違いますが、同じ目標を持った仲間とのグループワークは、自分とは異なる思考に新たな発見もあり、大変貴重で有意義な時間となりました。ご指導頂いた担当の先生も論理的に考えることの道筋を常に投げかけて下さり、管理者としての考え方の視野を広げることができました。そして、問題が生じることのみが問題ではなく、日頃から問題が起きないようにすることは勿論、問題が生じた時の解決への取り組みが重要であり、看護管理実践は問題解決の連続であるとの気づきが研修の大きな学びとなりました。

現在は、副看護部長として研修で学んだ知識を活用し、看護の原点を忘れず、患者にとっての最善は何か、自分の立ち位置で何をすべきかを考え、日々様々な問題にも柔軟な考えと論理的思考で根気強く問題解決に取り組むように心がけています。私自身もスタッフも看護を通して成長できるよう、今後も努力をしていく所存です。



神奈川リハビリテーション病院 中谷美都

私が、看護生涯学習センターのファーストレベルを受講した理由は2つあります。一つ目は、組織の目標を達成するために、多角的に捉えた人材活用することが、看護管理者として不足していると感じたからです。二つ目は週末型研修であり勤務をしながら学ぶことができ、私自身のワークライフバランスに合っていたことです。

研修では、看護管理者の役割として組織の方針や目標に貢献するためには、自律した看護実践を行い、人間としても成長しキャリアアップしていける人材を育成することがあることを学びました。この学びを活かし、スタッフと対話を行うときにはコーチングスキルを意識的に活用していくことを実践しています。また、成長や成果を目標管理シートを使用し見える化する教育方法を取り入れ、内発的動機づけによりモチベーションアップ・やりがい感を高め、組織の活性化につながるように取り組んでいます。研修の中で、一番苦慮したのが統合演習でした。どのように看護管理問題を分析し解決策を出していくのか、解らず、悩み、知識や技術の不十分さを痛感させられました。しかし、担当教員の相談しやすい人柄と研修生に合わせた的確なアドバイスから、解決策を見出すことができ演習を進めることができました。

そして、研修修了時には多くの学びから看護管理を実践していく不安が自信へと変化し、概念化スキルアップに向けた新たな目標を持つことができました。また、様々な施設から参加していた受講者と悩みを言い合える関係性が築けたことが修了までの支えとなり、私の貴重な財産となりました。管理者同士のネットワークができ、これからの管理活動の糧となり得ると感じています。



主な講師の紹介

佐藤みつ子(山梨県立大学名誉教授)人材管理Ⅰ担当

人材育成の基礎知識について、成人学習の原理、役割理論、動機づけ理論を講義頂きます。適切な職員教育のためには、教育の基礎理論を活用することが重要です。著書に「看護教育における授業設計」等があり看護教育学の専門家として豊富な看護基礎教育経験とともに、看護管理者教育にも携わられています。

大島敏子(日本看護連盟会長・NPO法人看護職キャリアサポート フリージア・ナースの会会長)資源管理Ⅰ担当

経営資源と管理の基礎知識として、診療・介護報酬制度、経営指標の理解、看護活動の経済的効果について講義頂きます。講師は、特定機能病院の副院長としてのご経歴で、「経営貢献力アップー看護の質を高めるデータ活用術」等の編者でもあり、看護職が苦手な経営の話のわかりやすくリアルに講義頂けます。

瀬戸遼馬(東京医療保健大学医療保健学部医療情報学科教授)資源管理Ⅰ担当

看護における情報において、医療情報とは、医療情報の活用、医療・看護情報の種類と特徴等について講義頂きます。医療情報システムや人的なりソースを活用して、病棟、病院全体、そして地域まで繋がる医療サービスの仕組みをテーマに研究を重ねられ、研修やセミナー等多岐にわたりご活躍されています。

鷲塚明子(厚木市立病院看護部長・副院長)人材管理Ⅰ担当

看護チームのマネジメントとして、チームマネジメント、看護ケア提供方式、看護補助者の活用について講義頂きます。講師は、厚木地区の拠点病院としての急性期病院の副院長であり、チームマネジメントの重要性や成果について具体例も交え講義頂きます。

加藤明子(看護師社労士事務所所長)人材管理Ⅰ担当

労務管理の基礎知識を、労働法規、就業規則、メンタルヘルスを含む健康管理、ワークライフバランス、ハラスメント防止等を踏まえながら講義頂きます。労務管理、働きやすい職場環境づくりは医療安全上においても重要であり、講師は看護師免許をもち看護職の労務に詳しい専門家です。

一柳景子(公立福生病院看護部長)ヘルスケアシステム論Ⅰ担当

ヘルスサービスにおける看護の役割として、看看連携、地域連携における看護職の役割等について講義頂きます。講師の研究テーマ分野でもあり、急性期病院の地域中核病院の看護部長としての日々のご経験の元、退院支援のあり方についての検討も予定しています。

角智美(茨城県立病院・茨城県地域がんセンター看護教育支援室副看護師長)組織管理論Ⅰ担当

看護実践における倫理の单元を、対象の権利と人権擁護に基き看護実践における倫理的問題への取り組み、意思決定への支援について講義頂きます。講師は、看護倫理分野を研究領域としており、臨床現場での倫理的問題への取り組みにも豊富な経験をもち活躍されています。

納富一宏(神奈川工科大学情報学部情報工学科教授)資源管理Ⅰ担当

看護実践における情報管理について、情報リテラシーとして情報管理を倫理的側面より講義頂き、情報検索について演習を頂きます。演習では、各自にパソコンを使用しての実際の検索を指導頂きます。本学の情報学部の専門家として活躍されています。

柴田真紀(神奈川工科大学看護学部看護学科准教授)統合演習Ⅰ担当

研修の学習内容を踏まえ、受講者の方々が取り組む課題の明確化、対応策を立案する過程を学びます。グループ演習で進めますが、講師は看護管理者の経験をもつ研究者で、論理的思考による展開の指導を頂けます。



研修教室



視聴覚教室



ITビルエントランス

研修場所(神奈川工科大学 ITビル)・交通アクセス



アクセス方法

小田急線「本厚木」駅下車。本厚木駅北口より徒歩5分。

看護生涯学習センター場所・交通アクセス

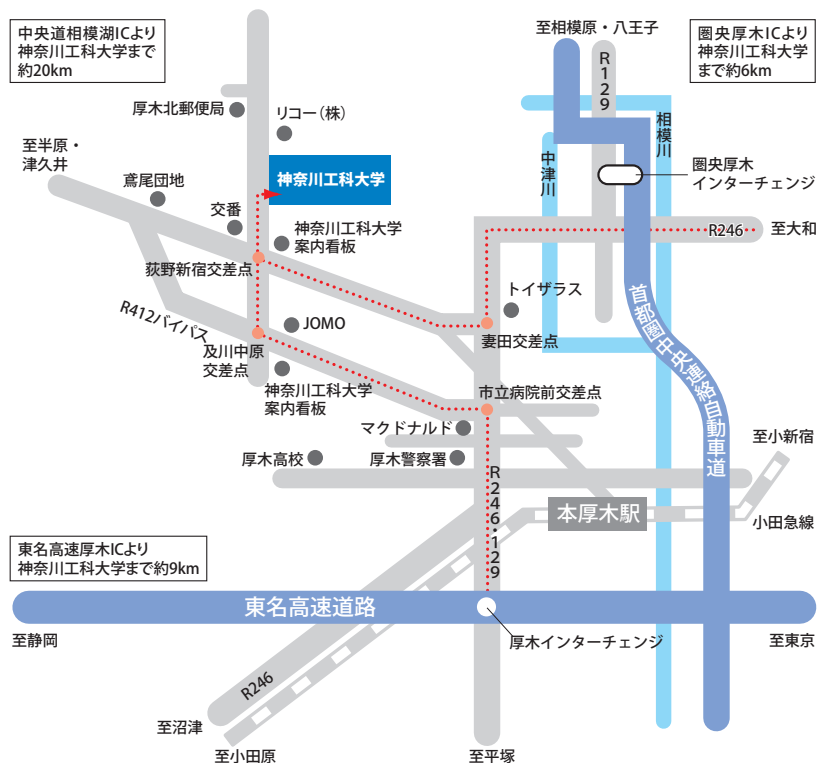


アクセス方法

小田急線「本厚木」駅下車。

本厚木駅北口よりバスを利用。3つのルートがあります。

- ① 厚木バスセンター1・2番線から「神奈川工科大学」行きに乗車。(バスセンターから本学までの直行)
- ② 北口バスターミナル1番線から「青年の家」行、「神奈川工科大学経由・鷺尾団地」行で、「神奈川工科大学前」下車。
- ③ 北口バスターミナル1番線から「上荻野車庫」行、「半原」行、「まつかげ台」行、「鷺尾団地」行で、「荻野新宿」下車、徒歩8分。



問い合わせ先

神奈川工科大学看護生涯学習センター

〒243-0292 神奈川県厚木市下荻野1030 神奈川工科大学 看護医療棟K4号館4F

TEL / FAX : 046-206-0245

(なるべくFAXまたはE-mailをお願いします)

E-mail : ksg@ns.kanagawa-it.ac.jp